セキュリティ・安全管理総合展

SECURITY SHOW 2021 report

3月9日から東京ビッグサイト南展示場（東京都江東区）で開催した第29回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW2021」（主催・日本経済新聞社）が3月12日で閉幕した。セキュリティ機器やサービスを提供する代表的な企業が出展。防犯カメラや感染症対策、サイバーセキュリティなど社会やビジネスの安全・安心を守る製品が紹介された。次回は2022年3月1日（火）から4日（金）まで開催する。なお、オンライン展示会「SECURITY SHOW Online」は、4月末までアーカイブを公開している。ここでは、同時開催の「リテールテックJAPAN」出展社とともにレポートする。

セキュリティ機器やサービスを提供する代表的な企

感染症対策やニューノーマルに関するサービスに注目

◇日本万引防止システム協会（JEAS）は、「セキュリティショー2021」において、加盟企業のパンフレットなどを展示した他、東京万引防止官民合同会議など協会の活動を紹介した。さらに、全国万引犯罪防止機構の活動も紹介。

この他、様々な無料セミナーも実施した。セミナー概要は以下の通り。

▽3月9日（火）13時～14時「小売業等のデジタルトランスフォーメーション&ロスプリベンション&セキュリティの最新事例」会場：リテール&セキュリティステージ（南4ホール）（無料）主催：日本万引防止システム協会

概要：デジタルトランスフォーメーション&ロスプリベンションと顧人情報保護の両立というテーマで、無人図書館、警備&顔認証システム活用防犯官民合同会議など協（小型店も対応）、店舗間万引等緊急通報システム、セルフレジ不正対策などで効果があった事例を二挙公開する。コロナ禍でも通常時でも役立つ。

▽3月11日（木）10時～14時40分「商業施設の防犯対策」会場：リテール&セキュリティステージ（南4ホール）（無料）主催：一般社団法人総合防犯士会（ASES）

概要：新型コロナと直接の関係関係はないが、巣ごもり需要の拡大、レジ袋有料化によるマイバッグ普及など、社会環境の変化による犯罪が増加している。商業施設内での車両の盗難、子供の誘拐、万引きなどの犯罪に対し監視カメラ他防犯機器を設置してきたが、機器を活用しながら「防犯対策はどうあるべきか？」を考える。

▽3月12日（金）14時～16時20分「新しい時代のロス対策・万引対策」会場：東京ビッグサイト会議棟（無料）主催：全国万引犯罪防止機構

概要：顔認証を使っての他企業間の情報共有を実行する際、個人情報の活用をはじめ、最先端の技術の活用した万引防止対策について議論。

日本万引防止システム協会のブース